



■美化活動多数回参加者に感謝の気持ち！～新春の平安神宮で表彰式～



新しい年を迎え、「今年も健康で良い年になりますように！」と本年第1回目の美化活動を平安神宮で行いました。活動前に本殿に参拝し、参加者の今年1年の健康を祈願しました。その後、ふだんは立ち入ることができない「尚美館」裏庭の落ち葉清掃を行いました。

清掃後、拝殿前にある取り換えられたばかりの「龍尾壇」に関する裏話を聞いた後、神苑の見学をしました。そして、最後に「尚美館」の中を案内して頂きました。栖鳳池に佇む「尚美館」は大正時代に京都御所から移築されたもので、望月玉溪作の襖絵などを見せて頂きました。

美化活動は、京都を訪れる多くの観光客に「気持ちよく京都の観光文化に触れていただけるように」との都草の精神に基づき、設立当初から活動を続けてきました。社寺関係者から様々なお話を伺うのも楽しみであり、新たなご縁をいただけるように努力しているところです。

今回は多数回ご参加いただいた会員に対し感謝の意を込めて表彰をしました。一時は20名に満たない時期もありましたが、しだいに美化活動に積極的に参加して下さる会員が増え、最近では常に30名を越えています。本来なら全ての方に感謝の意を表したいところですが、10名の方に限らせていただきました。みなさん、本年も一緒に、楽しく身体を動かし、健康に過ごしましょう。(理事 伊藤 義男)

■第15回京都検定1級、夫婦で合格！



昨春より京都検定対策委員会に夫婦で参加させていただき、京都通模擬試験の問題作成をはじめ、ヤサカ観光講座、京都商工会議所主催「京都検定1級対策講座」の資料チェックなどを行ってきました。今まで自宅で取り組んでいた京都検定受験に向けての学習方法とは違った視点で、メンバーの方々からたくさんの事柄を教えていただきながら取り組んで参りました。そのお陰で、4回目の1級受験となる第15回京都検定に初めて合格することができ、大変嬉しく思っております。

家内は今回で4回連続の合格を果たし、当初の目標であった夫婦そろっての1級取得となったことも望外の喜びです。3度の不合格に甘んじている私自身の一つの原因は、京都生まれ京都市育ちの家内に比べ、京都に縁のなかったハンディにあると感じていました。委員会での活動を通じて学習視点を変えてみる機会を与えていただいたことで、今回の初合格にたどり着けたと感謝しております。

夫婦での1級合格を機に、浅学を意識しつつ、京都検定対策委員会のメンバーとして、これからも続けるであろう京都検定受験者として、まだまだ知らない奥深い京都への興味、学びを深めていきたいと考えております。(会員 蟬江 喜晴・蟬江 馨子)

阪急交通社様には「阪急たびコト塾」のご縁で、このたび法人会員となっていただきました。現在では大阪のみならず東京、名古屋と講演する地域も広がっており、それぞれ好評をいただいております。これからはいろいろな方面でコラボしてゆく予定です。

■「京都を極める」第 30 回を終えて



阪急交通社が開催する「阪急たびコト塾」では、「京都を極める」というタイトルで、2017年7月より都草の皆様にリレー形式で講師を務めていただき、京都の歴史、祭事、伝統、町並みなどを紹介する講座を毎月開講しております。そして、2018年12月に第30回を迎え、「京都を極める」シリーズだけで延べ約1,000名、特別セミナーを合わせますと1,300名以上のお客様にご参加いただきました。

約1年半の中で多くの都草ファンが生まれ、ほとんどの参加者にリピーターとなっていただいております。また、数ある講座の中でも特に歴史の裏側を紐解くようなテーマの講座に興味をお持ちになるお客様が多く、「講座で紹介された所縁の地へ実際に足を運んでみたい」というお声を何度もいただきました。歴史や文化だけでなく、景色や写真、鉄道、門前菓子、雑学など多岐にわたるテーマで、お客様にとっての「新しい京都」、「知らなかった京都」を講師の方の独自の切り口でご案内いただけるからこそ、これだけ多くのお客様に受講いただき、さらにリピーターとなっていただける要因だと感じております。今後も皆様のご協力のもと、より京都の魅力を知っていただける講座や、実際に現地でも魅力に触れていただけるツアーも開催していきたいと考えております。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。(阪急交通社 山下 勝幸)

■第3回ガイド研修実施「ガイドの基本動作及び話し方の実践演習」

37名の参加を得て、今年度3回目のガイド研修を実施しました。観光ガイド・施設案内・講演会講師等の重要性が益々高まっており、話すための技能向上を図るため、力を入れて取り組んでいます。今回は、「都草案内業務 服務規程」の説明、発声練習、「ガイドの基本動作」に関する講義のあと、予め設定した4か所（府庁旧本館の旧知事室・旧議場、御苑の堺町御門・蛤御門）について、実際に来訪者・ツアー参加者の案内を想定した実践演習を行いました。



「ガイドの基本動作」では、田村専務理事が特に次の事を強調されました。

- ①お客様に背を向けず顔を見て説明する
- ②知識を繋げて「物語る」ように話す
- ③説明用パネルはお客様がわかりやすいように掲示する

実践演習では合計7名が各々のスタイルで「実演」を行ない、それに関する活発な意見交換・質疑応答により、各参加者が自らのガイド方法・知識を見直すキッカケになったと思います。

府庁旧本館に関する建築様式・構造等の専門的な説明、蛤御門に関する故事来歴等の情報交換も行なわれました。説明する際は知っていることをすべて話すのではなく、限られた時間の中でいかに楽しんで聞いてもらうのが大切であり、そのために話す内容や時間を工夫しなければならないことを全員が認識できたと思います。「実演者」の皆様、大変お疲れ様でした。次回は6月25日(火)に開催する予定です。今回欠席された方もぜひご参加下さい。(理事 中島 孝和)